

なかがわ

広報

2015.8



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.119

- 災害に対する備えを！ 2
- ホースヘッズ村から親善訪問団来町 4
- 国勢調査が始まります 6
- 結婚相談所をご存じですか？ 11

夏だ！



馬頭中央保育園

広報 展示室

第119回

夏季特別展 三代目歌川豊国没後150年記念 役者見立東海道五十三駅展(後期)

元禄14年(1701)3月14日赤穂藩藩主浅野内匠頭が江戸城松之廊下で高家肝煎吉良上野介に切りつける事件がおきます。吉

良は軽傷ですみませんが浅野は切腹、御家はお取り潰しとなりました。ほとんどの家臣は全国に散りじりになりましたが、わずかに残った家臣たちは家老の大石内蔵助の元にあつまり吉良を主君内匠頭の仇とし、翌年12月14日に本所の吉良邸に討入り吉良を討ち取りました。翌朝徒歩で高輪にある内匠頭の墓所泉岳寺へと引き揚げ首を藩主の墓前に供え、後に討ち入りに参加した義士は全員切腹と決まり藩主の眠る泉岳寺に葬られました。後にこの元禄赤穂事件は、人形浄瑠璃、音曲、歌舞伎に上演されますが、早い例としては元禄16年(1703)江戸の山村座で『傾城阿佐間曾我』として上演され、以降『碁盤太平記』(1710)『忠臣金短冊』(1732)などとして演じられました。これらを集大成したのが『仮名手本忠臣蔵』です。演目名の由来は赤穂四十七士を「いろはにほへと」四十七文字になぞらえ「仮名手本」とし藩主に「忠臣」の家老大石内蔵助から取ったというのが一般的です。

歌舞伎においては『仮名手本忠臣蔵』全十一段から成り、本図は五段目に当たります。伯耆国の家臣だった斧定九郎は改易後強盗に身をやつし、その日暮らしをしていました。偶然与市兵衛が大金を持っていることを知った定九郎は真つ暗な山崎街道を帰宅途中の与市兵衛の後を付け、誰もいないところで強盗殺人を行います。与市兵衛を斬り懐の巾着に入った50両を手にして「50両」とセリフのあと、イノシシと間違われて流れ弾に当たり、腹部と口から血を流し、仰向けに倒れて苦悶の末あつけなく死んでしまいます。その後六段目になると50両の金が騒動の元になり、悲劇が訪れます。



「東海道 土山水口間 おほの 定九郎」

役者見立東海道五十三駅の中に「仮名手本忠臣蔵」をテーマとした作品がいくつかあります。

例えば「東海道 日本橋品川間 高輪 由良之助」や「東海道五十三次之内 日本橋品川の間 高輪 大星力弥」や「東海道五十三次の内 戸塚駅 早野勘平」「東海道五十三次の内 程ヶ谷駅 姉おかる」などが知られています。

馬頭広重美術館 館長 市川信也

【会 期】 後期:8月30日(日)まで
【休 館 日】 月曜日・祝日の翌日
【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
(但し入館は午後4時30分まで)

【入 館 料】
大人 700円(630円)
高・大学生 400円(360円)
※()は20名以上の団体料金。
※中学生以下は無料。
※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

8月15日(土)は無料開放いたします。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご来館ください。

平成26年度 那珂川町観光写真コンテスト受賞作品



入選「投網、豊漁に微笑む」
富永 明さん(宇都宮市)

那珂川町に 「雷様剣士ガイジ」 がやってきた?!

放送局 とちぎテレビ
放送日 8月31日(月) 午後7時45分~
※再放送 9月5日(土)午前8時30分~

